

# とうにうん

第25号 09年12月8日  
J R 東海 労 東 二 運 分 会  
責任者 庭 山 義 輝  
編 集 教 宣 部

## 64年前の12月8日 310万人の被害者をつくった犯罪

いま、米軍基地の移転をめぐる国内外で無用な駆け引きがされています。なぜ無用なのかは言うまでもなく、戦争は人間にしかできない残酷な犯罪であり、そのための軍事基地を「安全保障」というデタラメな理由で日本に置くことはその犯罪に手を貸すことになるからです。駆け引きは無用です。ただちに日本から、世界から軍事基地と軍隊を撤去、廃止させなければなりません。

64年前の12月8日は、日本が太平洋戦争・犯罪に手を染めた日です。この戦争以前も戦国時代の国盗りにあきたらず勝手な理由を付け、国外でも戦争をくり返していました。しかし、太平洋戦争に「負ける」ことを通して憲法9条によって軍隊を持たず、戦争をしない国にかわったはずでした。にもかかわらず自衛隊という軍隊を持ち、米軍基地を容認し、かかる費用の肩代わりをもしてきました。

朝日新聞「天声人語」の一部（『』内）を紹介します。

『3月に…言葉の空疎化について書いた。たとえば「戦争の悲惨さ」「命の大切さ」と言う。便利なだけに手垢にまみれて、もはや中身はからっぽの感が強い、と。少し言い過ぎかと思ったが、賛同の手紙を何通か頂戴した。この手の紋切り型は収まりがよく、人を分かったような気にさせる』と。また、評論家の一説から『…美しい「花」がある、「花」の美しさという様なものはない…』とも。

理解は難しいが、戦争を体験していない者は人ごとにせず「戦争の悲惨さ」ではなく「悲惨な戦争」について体験を聞き平和への思いの質量を増やせ、と強調しています。

太平洋戦争だけで、兵隊さんと一般の人を合わせて日本人310万人が犠牲・被害者になったといわれています。  
行動を！ 世界の基地と軍隊と 戦争をなくすために